

同期不全の臨床

SEET法・二段階胚移植法の 現状と効果

後藤 栄

- SEET法および二段階胚移植は implantation window を拡大し着床率を高める可能性がある。
- 二段階胚移植は DBT と比較して、妊娠率を低下させることなく有意に多胎率を低下させる。
- 良好胚盤胞を HRT 周期で移植する場合は、SEET法を併用するほうが妊娠率が上昇する。
- 5回以上の反復 ET 不成功例では、二段階胚移植は SEET・SBT より妊娠率が高い。

はじめに

子宮内膜刺激胚移植 (stimulation of endometrium-embryo transfer : SEET) 法と二段階胚移植法は、ともに胚因子による子宮内膜の胚受容能の亢進による着床環境の改善を目的とした移植方法である。

（以下は本文の続きですが、画像が非常に小さいため、具体的な内容は読み取れません。本文は、SEET法と二段階胚移植法のメカニズム、臨床的効果、および具体的な実施方法について詳しく説明していると考えられます。）

ごとう さかえ：後藤レディースクリニック（〒569-1116 大阪府高槻市白梅町4-13 ジオ高槻ミュージアムEX 5F）